



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No.9

2009.9.2 (No.2560)

第2560地区ガバナー／植木 康之
 会 長／菊池 渉
 会長エレクト／榎山 仁(クラブ奉仕A)
 副 会 長／山田 富義(クラブ奉仕B)
 幹 事／松永 一義
 S A A／成田 秀雄
 会 計／石月 良典

例会日／毎週水曜日12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (へはshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

■本日の出席会員数:55名中47名
 ■先々週出席率:90.74%

【ゲスト】

・長岡造形大学
 教授 山下秀之 様

【ビジター】

三条東RCより
 ・田村一幸さん

【先週のメイクアップ】

【8.27】三条東RCへ
 ・斎藤弘文さん、丸山行彦さん
 ・渡邊喜彦さん、西川文夫さん
 ・山田富義さん、加藤紋次郎さん
 ・近藤雄介さん、浅野金治さん

【8.28】吉田RCへ
 ・西川文夫さん、渡邊喜彦さん
 ・加藤紋次郎さん

【8.31】三条南RCへ
 ・浅野金治さん、丸山行彦さん
 ・藤田紘一さん、中村和彦さん
 ・山田富義さん、西川文夫さん
 ・渡邊喜彦さん



「ロータリーの未来は、
 あなたの手の中に」

2009～2010年度国際ロータリーのテーマ

季節のお花 (ススキ)



会 長 挨拶

菊池 渉 会長



ご挨拶申し上げます。

はや九月、私も会長三ヶ月目に入りました。
 来週はアシスタント・ガバナー、再来週は
 ガバナー公式訪問です。宜しくお願い致し
 ます。

世の中忙しい一週間でした。民主党の大
 躍進、政権交代、政治も変革の時代に入ったのでしょうか？

また先週は東別院での「朝例会」、大勢の方の御出席ありが
 とうございました。御輪番は分かり易く「いのち」の話をし
 て下さいました。

「いのち」といえば、七月に生まれた孫が帰ってきました。
 まだ実感はないのですが、おそるおそる抱いてみました。初
 対面の挨拶を致しました。

そんなことやらで、気になる言い方がございます。それは、
 最近、子供が「授かる」という言い方を聞かなくなったよう
 に思えるのですが、皆さんは如何でしょうか？

「子供ができた」が普通、「子供をつくった」まであります。
 しかし本来は「授かった」でしょう。「授かる」ということは「授
 ける主体」がいる。神や仏によって「授けられた」子供、そう
 いう認識がいつの間にか、科学(医学)の発達と比例するか
 のように、子供は「つくる」ものとなってしまっています。

自分の「つくった」ものだと思うから、あれこれ悩む。どう
 も我が子はできが悪いとか、なんとかして一流大学に、一流
 企業に……と思うから、やきもきせざるを得ない。

神や仏から「授かった」子だと思えば、その子を真の意味で幸せにしてやれるのではないのでしょうか？足の不自由な子供があれば、仏様は「この子は足が不自由なのだから、足が不自由なままで幸せにしてやって欲しい」と願われているのでしょうか。その願いに気が付いた時、私たちは本当の子育てができるはずなのです。

寿命の短い子供もいます。勉強の嫌いな子供もいます。みんな「その環境の中で精一杯幸せにしてやっておくれ！」こう願われて、授けられたのが子供たちなのでしょう。

お恥ずかしながら自分の子育ての時にはなかなか気付かず、自分の子供を「授かりもの」とは思えませんでした。しかし今、孫にはそのような接し方をしたいなあ、息子やその妻にはそう教えようと考えています。

ついでに蛇足ですが、妻も神仏からの「授かりもの」だと思ふことにします。「そのままで幸せにしてやっておくれ」という仏の願いに願っていていきたいと孫から学んでいます。妻も授かりものですよ、みなさん！

幹事報告

松永一義 幹事

◎次々週は植木ガバナー公式訪問です。終了が通常例会時間より遅く、PM3:00(写真撮り含め)になる予定です。当日、会員の皆様のご出席をよろしくお願い致します。(回覧致します。)

◎新井RCより創立50周年の記念式典のご案内が届いております。

と き 11月8日(日) PM12:00~
と ころ 妙高市総合文化ホール

◎新潟東RCより第9回ライラ研修開催のご案内が届いております。

と き 10月31日(土)~11月1日(日) 2日間
と ころ 学生総合プラザ「STER」
(新潟市中央区)

登録締切 9月10日(木)

※ロータリアン1名以上、青少年研修生2名分

ニコニコBOX

田村一幸さん(三条東RC)

よろしくお願い致します。

西山徳厚さん(元会員)

8月8日に頸椎と腰椎の手術を終わり、今迄の足の痛みは悪夢が醒めたようになり、人生の喜びとなりました。

菊池 渉さん

9月になりました。

遅い夏休みが取れました。お陰で体重が2kg増え、疲れが残りました。

外山雅也さん

菊池会長さんのお陰で久しぶりに東別院本堂へ上がり、お参りすることが出来ました。

石月良典さん

事務所の社名を変更しました。

石月税務会計事務所をやめて、税理士法人 ピア・タックスとし、すべてアルファベットにしました。なじみにくいですが、ピアはさんばしの意味、タックスは税金です。

野崎喜一郎さん

8月29日(土)、新潟テルサで1,100人が集まって、トキめき国体の結団式が行われました。

あと24日で開会式です。

田中 仁さん

新型インフルエンザが流行って来ているようです。朝、昼の温度差が激しいです。体調管理に気を付けましょう。

渡辺勝利さん

ヨネックスレディスの表彰式に計らずも日頃と違う顔で映ってました。

五十嵐晋三さん

先日のヨネックスオープンの表彰式で、渡辺勝利さんが大変若々しくこの上ない笑顔で出ておられました。うれしくなりました。

藤田紘一さん

山下様、卓話ありがとうございます。

いよいよ秋です。

インフルエンザに注意しましょう。

松永一義さん、山田富義さん、小出子恵出さん、

伊藤寛一さん、若槻八十彦さん、杉山幸英さん、

斎藤真澄さん、五十嵐昭一さん、船越正夫さん、

高橋 司さん、武田真二さん、米山智哉さん、

会田二朗さん、丸山行彦さん、樺山 仁さん、

明田川賢一さん、成田秀雄さん

山下先生、卓話ありがとうございます。

楽しみにしております。

渡邊喜彦さん

残暑厳しい折、皆様お見舞申し上げます。

本日、早退させていただきます。

斎藤弘文さん

都合により早退させていただきます。

9月2日分 ￥33,000

今年度累計 ￥220,000

卓 話



長岡造形大学
教授 山下秀之 様

1961年 東京生まれ
1984年 東京工業大学工学部建築
学科卒
1998年から造形大助教授
2006年～ 同大教授

こんにちは。ご紹介にあずかりました山下です。このような格式の高い場で講演するような者ではないのですが有り難くお話を頂戴致しましたので最近長岡で出来たばかりのプロジェクトの逸話をさせて頂きます。

その前に。私はいつもこんなカタチをしています。寝る時も家にいる時も大学でレクチャーする時も外部にレクチャーに行く時も何時も上下黒です。

非常に楽なんです。ある方に教えて貰ったのですが、私が学生だった時に何時も同じ格好をしていらっしゃる。その人は多分同じシャツを何枚も、10枚以上。私もそれにならってやり始めてみるとすごく楽なんです。

最初は皆さん噂で「あの先生は黒しか着ないからきっとユニクロだ」と言われたのですがそのうち当たり前前に皆さんが思ってくださいます。

私は大学に8年前に着任したのですがでも東京の渋谷で生まれてその後ずっとロンドンにいましたが東京に戻っていた時大学から誘いを受けました。母が新発田の出身だったので昔三尺玉の花火も見た事もあったのですが、それこそ40年振り位に長岡に来てきれいな校舎を見てここにデザインスクールが出るんだと思いました。それまで造形大の事は知りませんでした。教えはじめて隣の研究室の先生がうちの学生はどうですか？と聴くんですね。多分期待が外れてませんかと聞かれたのだと思うのですがそんな事はありません。

その結果4年前私の研究室を卒業した卒業生が日本全国卒業設計コンクールという日本建築家協会主催のコンクールで金賞を取りました。東大、京大、東工大を全部下にしての一等です。

また、6年前ですが大学院を卒業してロンドン大学に留学した子がいるのですが、そのコースは世界中から50人位の若武者が集まっているのですがなんとトップで卒業したのです。これは奇跡に近い事なのかもしれません。

但し、何故この様なカタチで学生達が育っているのかということ私は秘策を知っているんです。毎年、造形大学山下研究室は新潟の県大会を突破しています。全国大会に出るんです。新潟大学は太刀打ち出来ません。この10月に全国大会があるのですが研究室を出て修身1年のタンビルというバングラデシュからの留学生がいます。世界最貧国から来た彼が研究室を出て県で一等になって全国大会に出ています。秘策はきっと難しい事ではなくって20世紀にニューヨークのスカイスクレーパーが、ワールド・トレードセンターが崩壊した瞬間に人類が7千年前から積み上げてきた都市の文化が多分変わったんだと思うのです。

その次の時代の21世紀は当たり前のようにエコロジーとか癒しというものが叫ばれていて、私が学生達にいつも言うのは東京の子達よりあなた達の方がアドバンスしているんだから。あなた達が子どもの頃歩いた道、あぜ道、せせらぎ、山の落ち葉の上を歩いたその感触を知っている君たちの方がよほど21世紀にはアドバンスしているのだからと誇負してプロジェクトをさせています。

その結果がコンクールで一等を取るとかに出ているのだと思います。

地方の大学で私と同じように教える先生がいたら同じように結果を出していくと思うのです。

建築もアスファルト・コンクリートの時代から水・緑・微生物を含めた対応をして行かなければならな



いのですが、お金もかかり難しいのですが研究の内容としてはとても有効で学生達は私と一緒に発信しています。

本も出しているのですがいまだに東京の大手書店で平積みされている状態で有り難いと思っています。今日ご紹介するのは長岡に出来た子育て支援のてくてくというプロジェクトなんですけれどこれを設計したお話をしたいと思います。

この小さな建物に子どもたちが毎日千人押しかけしています。一か月に三万人。

長岡駅の近くに子育て支援の場があうのですがここは1年で三万人です。

この間NHKで全国に報道されました。その時森市長が説明していたのは、雪国の子どもたちは半年に近く外に出て遊べないから室内で外のように遊べる場が欲しい。けれど国土交通省の提示している補助金ではそれが出来ないで地方分権のようなカタチで自分たちに補助金の使い道を任せてくれればいろんなアイデアを実現できるのですがその一つがこれなんです。と言われていました。

実際にこの建物は公園施設なのです。建築なのですが公園の施設、つまり公園にはよくある東屋という囲われていなくて空調しても意味がないあれですが、それが大きくなってこうなったと解釈してください。



こんな看板も
デザインしました。

店にも見える、野原にも見える、子どもにも見える。
人によって、いろいろな見方ができる看板です。

看板も作って、考えました。 遊った遊び、わらわら遊ばしました。

次週例会 9月16日

植木康之ガバナー公式訪問

AM11:00~PM3:00

次々週例会 9月23日

クラブ休会(秋分の日)

